



震災から12年経って・・・

2011年3月11日、この日の出来事は今も多くの人の記憶に鮮烈に残り、この日を境に私たちの防災意識や、地震・津波に関する考え方ははじめ、様々なものが変容したと思います。

あれから12年もの月日が流れ、防災意識が薄れている今、改めて、**防災意識を持ち、いざ大規模な災害が発生した時に適切な対応が出来るように、準備をしましょう。**



家具の置き方 工夫していますか？	食料・飲料などの備蓄 十分ですか？	非常用持ち出しバッグ 準備できていますか？	安否確認方法 決まっていますか？	避難場所や避難経路 確認していますか？

詳しくは... [防災の手引き～いろんな災害を知って備えよう～首相官邸](#)

ポイント

- 実習生や特定技能生の**避難場所や、待ち合わせ場所について、必ず事前に話し合っておきましょう。**
- 実習生や特定技能生は、避難先になる親戚も居ません。災害時は**必ず約束の場所へお迎えに行ってください。**
- 実習生や特定技能生は、**大震災を経験していない。**母国の自宅はすぐに倒壊する恐れがある為、地震が来ると**玄関を飛び出る癖があり、二次災害を出しかねません。**地震が来たときの正しい対処を教える事が大切です。
- 皆様が震災時一番に考えたのは「大切な家族や、職場の仲間の無事」ではないでしょうか。
実習生や特定技能生にとって、**日本の家族は、受け入れ企業の皆様です。**

第三回有識者会議 2月15日開催



提言内容を抜粋

- 技能実習生の失踪率が1.8%、転職が認められている特定技能外国人では行方不明者の割合が0.14%であり、10倍以上の差がある。技能実習生の失踪数の状況からみても、実習生の転籍、転職を自由に認めるべきだ。
- 無条件で転籍の自由が認められた場合、地方の実習実施者へ影響がでてしまう。
- 技能実習生が自由に転籍や、転職が可能になったら、よりよい労働条件を求めて転職していくのは、労働者の基本的な権利であり、ある種の労働市場のメカニズムである。
- 外国人労働者に、長く働き続けてもらえるようなインセンティブを企業側で作っていく工夫が必要。

有識者会議では、今年の秋口までに「最終提言」をまとめるようで、その前に、「中間マトメ」を夏前にと**いった予定で会議が行われています。**マイナーチェンジと違い、大幅なモデルチェンジを控えているだけ、**定点観測は怠らないよう、引き続きお知らせして参ります。**

監理団体からのお知らせ

- 一年に一度の**実施状況報告書**の提出の時期になりました。3月の給料が確定次第、賃金台帳をお送り下さいますよう宜しくお願い致します。